

事業報告

大分県公共図書館等連絡協議会、大分県立図書館、杵築市教育委員会、図書館サービス向上委員会の共催で開催する予定でしたが、台風7号の接近により開催会場を杵築市立図書館から大分県立図書館に変更し、時間も短縮して開催しました。

<研修名>

図書館情報交流会 in 大分（平成30年度 第2回大分県公立図書館等職員研修会）

<開催日時>

平成30年7月3日（火） 10:15～12:30

<会場>

大分県立図書館 1階 第2・3研修室

<参加人数>

45名（大分県内17名、講師・図書館サービス向上委員会関係者等28名）

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、最新の図書館情勢に対応したテーマについて、先進事例を学ぶことにより、図書館職員のスキルアップを図るとともに、交流の場を提供する。

<研修内容>

【事例発表】テーマ「ひとを集める図書館」～図書館の特色を活かしたアプローチ～

コーディネーター

県立長野図書館（長野県） 館長 平賀 研也 氏

発表者

(1) 有田川町教育委員会(和歌山県) 班長 青石 賢治 氏 / 司書 杉本 和子 氏
「有田川ライブラリーの取組—電子図書館から絵本のまちづくりまで—」

(2) 豊中市立高川図書館（大阪府） 館長 西口 光夫 氏
豊中市立岡町図書館（大阪府） 司書 上杉 朋子 氏
「デジタルアーカイブ活動～北摂アーカイブス事業～」

(3) 苅田町立図書館（福岡県） 館長 逆井 健 氏
「新たな視点～図書館からできる町の活性化～」

- ・電子図書館の導入メリットと課題、絵本のまち有田川を実現するための取組を紹介
- ・北摂アーカイブス事業の開設背景から現在までの活動、そこから見えてきた課題と気づきを紹介
- ・待ちの図書館から攻めの図書館へ、図書館ができる町を活性化するためのノウハウを事例と共に紹介
- ・「作業量的な問題はどのように解決しているか」「電子書籍の今後は」「図書館としての将来的な目標値は」等の質疑応答の後、平賀氏から「賑わいとは？図書館とは？地域とは？」を日々疑問に感じながら、事例から学べるノウハウや思いを受け止め、地域が生き生きと楽しいまちになるようにしていければ」と締めくくった。

<当日の様子(写真)>

【開会行事】



【事例発表】「ひとを集める図書館」

県立長野図書館(長野県) 館長 平賀 研也 氏



【事例発表①】有田川ライブラリーの取組



【事例発表②】デジタルアーカイブ活動



【事例発表③】



【トークセッション】質疑・応答も含む



<参加者感想>

- ・図書館の役割とは何なのか?を改めて考えさせられました。自己の図書館を見つめ直すよいチャンスととらえています。
- ・レファレンスや資料・地域資料など、それぞれの強味を活かしながら、交流しあうことが大事なことだと感じた。
- ・にぎわい創出の場として、“にぎわう”図書館の問題についても、今後考えていかなければいけないと思いました。対外的なアプローチの手法も学ぶことができてよかった。
- ・平賀館長の言葉にあった「自分自身の生き方、くらし方」をもう一度私自身振り返りたい。
- ・事例内容だけでなく、理想と現実の間でチャレンジし続ける方々の話や、現場で動く方の本音が聞けたことが良かった。